

【大地の恵み歴史の香り氷川町】

広報

ひかわ

2018 No.149

3
月号

大切な命を守る「防災頭巾」



【主な掲載記事】

- ・ 防災頭巾贈呈式
- ・ 町民体育祭冬季大会
- ・ 熊日郡市対抗女子駅伝・郡市対抗熊日駅伝
- ・ まちのわだい
- ・ すくーるらいふ（竜北東小学校）



も く じ

- 2 もくじ／防災頭巾贈呈式
- 4 町民体育祭冬季大会
- 5 熊日都市対抗女子駅伝・都市対抗熊日駅伝
- 6 まちのわだい
- 8 すくーらいふ（竜北東小学校）
- 10 有佐駅前団地入居者募集
- 11 けんこうだより
- 12 こころの健康コーナー
／認知症キャラバンメイトだより
- 13 立神峡だより
- 14 町民文芸
- 15 文化財つれづれ／八火図書館だより
- 16 氷川まつり
- 17 春の風物詩「初市」
- 18 暮らしの情報
- 22 伝言板／ひとのうごき
／氷川町の火災・救急件数
- 23 3月カレンダー
- 24 ひかわっ子写真館／まちへのホットライン

今月の表紙



（1月18日撮影）

大切な子どもたちの命を守るために 防災頭巾贈呈式

いて様々な用途に使えるように工夫されています。

頭巾を受け取った子どもたちは「私たちのために作っていただき、ありがとうございます。自分の命を大事にし、防災ずきんを大切に使います」とお礼の言葉を述べていました。

〈婦人会より〉

婦人会は、活動の大きな柱として「命を大切に」を掲げており、特に青少年育成問題に力を入れています。昨年11月の会員研修の際、一昨年（2016年）の熊本地震の怖さを未だに忘れられない子どもたちを想い、私たちに何かできることはないだろうかと考えました。そして、「タオル3枚の防災頭巾」を作ることになりました。氷川町の全校児童生徒約1000人分の頭巾を、全会員が手縫いで作りました。足りないタオルに頭を悩ませていたとき、各種団体や町民の方々、遠くは熊本市内からの寄付をいただきました。皆さまの暖かい心に感謝しています。

もしもの災害に備えた頭巾が、「次世代を担う氷川っ子」の尊い命を守ることにつながれば、婦人会として一番うれしいことです。

この活動に賛同していただきました多くの皆さまに、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

1月15日から18日の間、町内の小・中学生に、氷川町婦人会より防災頭巾が贈られました。

この防災頭巾は、子どもたちの命を災害から守るために、婦人会の全会員の手で一針一針心を込めて製作されたものです。また、いざという時は、頭巾をほど



▲ 竜北東小学校



▲ 竜北西部小学校



▲ 宮原小学校



▲ 竜北中学校



▲ 氷川中学校



寒さに負けぬ白熱したチームプレー

第13回町民体育祭冬季大会

2月4日、竜北体育センターおよび宮原体育館において、町民体育祭冬季大会が行われ、32地区館から671名の参加がありました。

カローリングの部では、ジェットローラーが傾斜により手前に戻ってくることもありましたが、予選から白熱したゲームとなりました。

アジャタの部では、なかなか入らないボールに苦戦するチームも見られましたが、練習の成果を発揮し、好タイムを記録するチームもありました。

成績については、次のとおりです。

○カローリングの部

優勝 北鹿野

準優勝 早尾

第3位 下宮

第4位 高塚

○アジャタの部

優勝 下宮

準優勝 中大野

第3位 今

第4位 東網道



▲選手宣誓



▲アジャタ。あと少し



▲カローリング。注目の一投



▲アジャタの部優勝：下宮



▲カローリングの部優勝：北鹿野

熊日郡市対抗女子駅伝・ 郡市対抗熊日駅伝

たすきに心をつないで 八代郡代表選手団が健闘!

毎年1月から2月にかけて開催される熊日駅伝大会では、県内の郡市が郷土を代表して熱いレースを繰り広げます。

1月17日、文化センター講堂において、八代郡代表選手結団式が行われました。

坂本正八代郡体育協会長から激励のあいさつがあり、選手を代表して松本晃くん（竜北中3年・新田）と新垣聖那さん（氷川中3年・西上宮）が選手宣誓を行い、健闘を誓いました。

八代郡代表として1町となり毎年苦戦を強いられています。ここ数年で高校生の陸上部員が増えてきており、今後のさらなる躍進が期待されます。

郷土の誇りを胸に力走

1月28日に開催された第35回熊日郡市対抗女子駅伝大会では、19郡市の代表が出場。7区間28・4kmを懸命にたすきをつなぎました。結果は、18位となりましたが、他のチームに負けないチームワークで、どの選手も走り終えた後は、晴れやかな表情をしていました。また、昨年よりも6分11秒もタイムを縮める激走で敢闘賞を受賞することができました。

2月11日には、第44回郡市対抗熊日駅伝大会が開催され、14区間106・9kmを男子チームがたすきをつなぎました。結果は、19チーム中19位でしたが、中高校生が多い前半は15位まで

順位を上げるなど、次大会につながる結果となりました。



▲女子駅伝スタート



▲結団式。頑張ります。



▲敢闘賞の女子駅伝チーム



▲緊張の男子駅伝スタート前



1/28

特産トマトをPR

第6回やつしろTOMATOフェスタ

道の駅「竜北」において、第6回やつしろTOMATOフェスタが開催されました。特設ステージ上ではイメージキャラクター「とまぴん」をはじめとするゆるキャラショーや、ダンスや演奏などのパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりました。また、恒例となっているトマトの早食い大会や、新しく行われたミニトマトすくいなど、おいしいトマトに参加者からは笑顔がこぼれていました。

出店では、トマトを使った料理や加工品が販売されるなど、トマト一色の一日となりました。



▲トマト早食い大会

1/26

い業の振興に貢献

第58回熊本県農業コンクール大会表彰式

平成29年度第58回熊本県農業コンクール大会の表彰式が熊本テルサ(熊本市)において開催されました。この大会は、自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組む県内の優秀な農業経営者や団体の功績を称え開催され、廣田和博さん(北鹿野)が地域貢献賞を受賞されました。

廣田さんは、いぐさ生産者のリーダーとして「北部ひのみどり会」の設立や「地域特産物(いぐさ・豊表)マイスター」として、栽培技術向上等に尽力され、県新品種の実証展示圃等に積極的に協力するなど、普及拡大にも貢献されたのが評価され、受賞となりました。



▲廣田和博さん(北鹿野)

1/30

先人の想いを引継いで

不知火干拓入植50周年記念植樹



▲植樹を行う関係者の方々

若洲公園において、不知火干拓入植50周年を記念した植樹が行われ、高さ約5メートルのクスノキが植樹されました。

不知火干拓は、食料増産を目的として、昭和26年度の直轄事業により着工され、17年を要して昭和42年に完工し、県内各地から90戸の農家が入植されました。

干拓地特有の塩害や軟弱地盤との戦い、台風による農作物への被害、熊本地震による農道、圃場、施設・倉庫などへの大きな被害がありました。それを乗り越えて地域農業の発展に取り組んでおられます。

現在は、キャベツ、ブロッコリー、アスパラガスなどの露地野菜が主に生産されています。

2/5

地域貢献活動に

I Hクッキングヒーター贈呈式

氷川町役場において、九州電力八代営業所より、I Hクッキングヒーターの贈呈が行われました。
これは九州電力がI H料理教室などの地域貢献活動の一環として行われているもので、氷川町文化センター調理室に1台寄贈されました。九州電力八代営業所の中島政治所長は「ぜひこちらの器具を利用して、地元食材を使った料理教室などに活用してほしい」と述べられました。



▲九州電力八代営業所の中島政治所長（左）

2/1

新たな農事組合法人が誕生

農事組合法人肥の川南の設立

南鹿野地区公民館において、農事組合法人肥の川南（代表理事 平岡英康・南鹿野）が設立されました。肥の川南は、氷川町で4番目となる農事組合法人で、組合員は、南鹿野地区の農業者32名で構成され、経営面積が約37ヘクタールとなっています。
平成28年に組織を立ち上げ、アンケート調査の実施により地域の課題を整理し、高齢化や後継者不足による離農や耕作放棄地の増加問題について検討会を開催したり、先進事例の視察や研修会等への参加を重ね、農事組合法人の設立に向けた取り組みを進めてこられました。
今後は、もち米を中心に農作業の共同化や受託、農地の借り受けや高収益作物への取り組みなどにより、農業経営を進めながら、農業の維持・発展に貢献することを目指しておられます。



▲農事組合法人肥の川南の組合員

2/14

勝利を目指して頑張ります

第18回全九州卓球選手権大会（中学の部）出場者激励会

【出場者】

竜北中学校

- | | | | | | | | | | |
|-------|------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|
| 吉開 | 船原 | 山下 | 遠山 | 俵 | 眞田 | 満井 | 濱田 | 濱洲 | 北山 |
| よしがい | ふなはら | やました | とみやま | たわら | さなだ | みつい | はまだ | はます | きたやま |
| 信昌さん | 大さん | 幸也さん | 昂太郎さん | 颯太さん | 立盛さん | 悠斗さん | 深人さん | 秀歩さん | 大地さん |
| (コーチ) | (監督) | (1年上鹿島) | (2年中網道) | (2年南鹿野) | (2年島地) | (2年上鹿島) | (2年中網道) | (2年北鹿野) | (2年島地) |

氷川町役場大会議室において、第18回全九州卓球選手権大会（中学の部）出場者激励会が行われ、出場者に報奨金が手渡されました。これは、平成29年12月23日、24日に行われた全九州卓球選手権（中学団体の部）予選で2位となり、出場権を獲得したものです。
2月17日、18日に大分県別府市（別府市総合体育館）にて開催された同大会に出場され、健闘されました。



▲竜北中卓球部の皆さん



輝く 竜東っ子

輝く179名の竜東っ子、保護者や地域の方に温かく見守られ、寒さにも負けず、元気に活動しています。

すくーるらいふ
school life
(竜北東小学校)

学校運営協議会・・・新しい取組「梨マラソン応援団」

子どもたちの「地域へ貢献する気持ちを高める」手立てとして、子どもたち手作りの「応援うちわ」や横断幕、立て看板の作成について学校運営協議会で進めていただきました。梨マラソン大会当日は、応援うちわを手に応援にも熱が入ったと、とても好評でした。



6年生修学旅行

9月19日(火)～20日(水)、1日目は実際に自分の目で見て、語り部の人の体験を聴いて戦争の悲惨さと平和の大切さについて学びました。2日目は、班行動を中心にハウステンボスや宇宙科学館で楽しく学びました。クラスや班の絆が深まった修学旅行でした。



5年生集団宿泊教室

10月5日(木)～6日(金)、水俣病資料館では、語り部の吉永理巳子さんから、家族や水俣病から逃げずに受け止め行動することの大切さを学びました。また、環境センターでは水質検査などの実験を通して、環境の大切さについて学習しました。芦北青年の家では、ペーロン艇やナイトハイクなど楽しい思い出ができました。



芸術鑑賞会

10月10日(火)は、自尊感情をテーマにした「やだやだ、あっかんべー」の演劇を鑑賞しました。



熊野座神社見学

10月13日(金)、3年生が熊野座神社を見学し、児童の舞を見た後、神社について聞き取り学習をしました。



スクールミュージアム

11月10日(金)、作品当てクイズを通して、鑑賞する視点について学びました。子どもたちの感性の豊かさに感心しました。



人権集会

12月8日(金)、「こそこそ話」をテーマに全校で話し合い、それぞれの立場での思いや意見を交流しました。



持久走大会

12月16日(土)多くの保護者や地域の方へのぼり旗を持って応援していただき、子どもたちにとって大きな力になりました。応援、どうもありがとうございました。



防災頭巾贈呈式

1月18日(木)、婦人会より防災頭巾をいただきました。一つ一つが手縫いで、子どもたちへの思いがいっぱい詰っていました。ありがとうございました。



有佐駅前団地（特定公共賃貸住宅）入居者募集

有佐駅前団地は、JR有佐駅から徒歩3分、段差をなくしたバリアフリーの設計で、どなたでも住みやすい住宅です。

現在、有佐駅前団地には2部屋空室があり、4月より入居可能です。

選考方法

所在地

氷川町宮原243番地15
（小学校区：宮原小／中学校区：氷川中）

募集住戸（2戸）

- 集合住宅1階B棟105号室
平成14年度建設、耐火構造3階建（庭あり）
オール電化住宅、3LDK
家賃・5万1千円（月額）
- 集合住宅1階B棟106号室
平成14年度建設、耐火構造3階建（庭あり）
オール電化住宅、3LDK
家賃・5万1千円（月額）

入居資格

次の①から⑥までのすべてに該当する人が、対象になります。

①同居親族があること。または同居しようとする親族がいること。

②申込者及び同居親族（同居しようとする親族）が、暴力団員でないこと。

③税等の滞納がないこと。

④過去1年間の所得が月額15万8千円以上48万7千円未満であること。

（所得が基準に達していない場合は、上昇の見込みがあること）

⑤入居の際に連帯保証人を立てられること。

⑥入居決定から10日以内に、敷金の納付および請書の提出ができること。

※その他、氷川町特定公共賃貸住宅条例などに基つきます。

選考方法

町営賃貸住宅入居者審査委員会において入居者資格の審査を行い、決定します。

注意事項

①動物を飼育することは出来ません。

②住宅を居住用以外の用途で使用することは出来ません。

申込書および募集要項

氷川町役場建設下水道課および氷川町宮原振興局総務振興課にあります。

また、氷川町のホームページからもダウンロード可能です。

申込受付

期間：3月1日（木）から年3月20日（火）

※土・日・祝祭日を除く

時間：午前8時30分から午後5時15分
場所：氷川町役場 建設下水道課

氷川町宮原振興局 総務振興課

※申込みの際、内容についておたずねすることがありますので、できるだけ申込者本人又は家族の方がご持参ください。

【お問い合わせ先】

建設下水道課 管理係

☎52・5856（直通）



けんこう だより

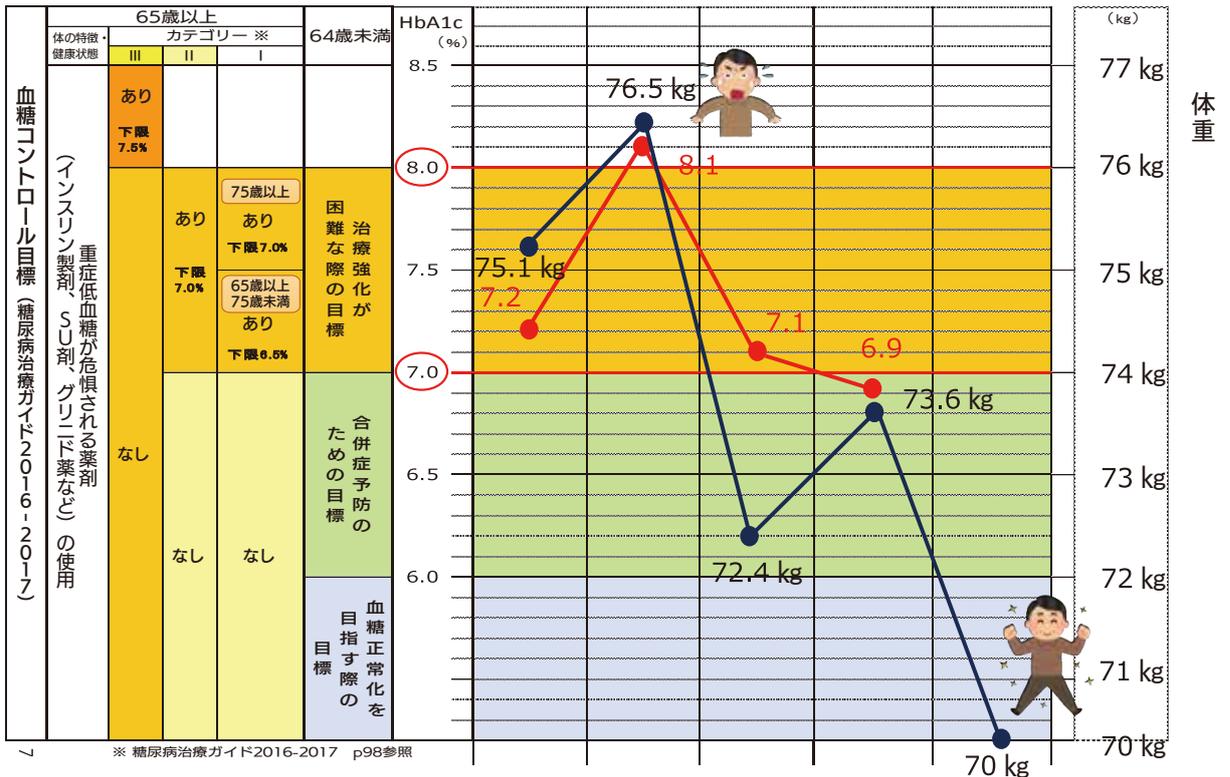
Mさんの血糖改善への道!



Mさん:60代男性糖尿病歴は7年。内服による治療は続けていらっしゃいましたが、血糖コントロールに向けて管理栄養士が介入させていただき、血糖がこんなに改善しました!

HbA1cと体重の推移

検査年月日	H27	H28	H29	H29.8	H30.1	検査年月日
年齢	67歳	68歳	69歳	69歳	69歳	年齢
体重	75.1 kg	76.5 kg	72.4 kg	73.6 kg	70 kg	体重
HbA1c	7.2	8.1	7.1	6.9		HbA1c



65歳以上 カテゴリー ※	64歳未満	
	III	I
体の特徴・健康状態	あり	なし
重症低血糖が危惧される薬剤 (インスリン製剤、SU剤、グリニド薬など)の使用	あり 下限 7.5%	なし
治療強化が困難な際の目標	75歳以上 あり 下限 7.0% 65歳以上 75歳未満 あり 下限 6.6%	合併症予防のための目標
血糖コントロール目標 (糖尿病治療ガイド2016-2017)	なし	血糖正常化を目指す際の目標

※ 糖尿病治療ガイド2016-2017 p98参照



H27 人間ドック
電話で治療状況を確認しました
「運動と食事に取り組んでいるよ」

H28 みなし受診
訪問して糖尿病連携手帳を確認しました
妻と糖尿病の合併症や慢性腎臓病についてお話
しました。食事量(果物・ご飯量)確認しました

管理栄養士から改善の POINT

- 食事の改善
- 病院での治療継続
- 糖尿病連携手帳の活用
- 特定健診を継続して受ける

担当N管理栄養士より感想

H27に初めて町の健診を受けていただき、それから毎年受けていただいています。
H28訪問時はお忙しく挨拶のみでしたが、代わりに奥様が食事の話を聞いて下さり「頑張るね!」と言って下さいました。
H29は見事にMさんの頑張りが数値に表れ、微力ながら管理栄養士として関わることができ、とてもうれしく思います。これからもぜひ頑張ってくださいね!

H29 人間ドック
8月:訪問し糖尿病連携手帳を確認しました
「薬が変更になってデータが良くなったよ」
1月:訪問し糖尿病手帳を確認しました
「ご飯の量を減らしたのが一番。最初はつらかったが慣れれば大丈夫」
取りくみ「ご飯量を2杯→1杯へ」「散歩を6000~7000歩/日」
「体重が70kgまで下がったよ。やっぱり食事が基本だね」

お問い合わせ先:健康センター ☎52-7154 保健師



本人に限らずご家族・知人などの人も
相談できます。※相談は無料です



こころの健康コーナー

氷川町の相談窓口

◆メンタルヘルス相談日

内 容：臨床心理士によるカウンセリング
日 時：3月28日(水) 14時～17時
場 所：健康センター相談室
相談担当：臨床心理士 井田博子

◆心療内科医師相談

内 容：受診したいがなかなか受診できない方のために心療内科医が相談を受けます
相談日：希望に合わせて医師と調整します
時 間：13時30分～15時
場 所：健康センターまたは訪問
相談担当：荒木幹太 医師
(荒木医院/熊本労災病院心療内科医師)

※電話またはメールで健康福祉課保健予防係へ予約をお願いします。

☎52-7154 (健康センター)

メールアドレス：

kenhuku@hikawa.kumamoto.jp

熊本県の相談窓口

■精神的葛藤と苦悩に関する相談
熊本いのちの電話 24時間 年中無休
☎096-353-4343

～ こころと体のセルフケア ～

わけもなくイライラしたり、こころがちよっと疲れたときは誰かに「ツライよお…」と愚痴をいうことも立派なストレス解消法です。様々なセルフケアの一つをご紹介します。

『今の気持ちを書いてみる』

もやもやした気持ちを抱えて苦しいときは、それを紙に書いてみましょう。自分なりの言葉で書くことが一番ですが、文章を書くのが苦手なら、イラストやマンガ、あるいは「書きなぐり」でも。要は頭の中で考えるだけでなく、実際に「手を動かす」ことが大切です。

書くことの効果はおもに2つ。1つは今抱えている悩みと距離をとって、客観的に見られるようになること。その結果、あせりがやわらぐので、落ち着いて物事を考えることができるようになります。もう1つは、それまで思いつかなかった選択肢に、自分で気づけるようになること。これは書いた文章を読み直すことで得られる効果です。

引用：自殺対策推進センター「こころもメンテしよう」

氷川町役場 健康福祉課 保健師 ☎52-7154(健康センター)

第58号

氷川町認知症キャラバンメイトだより

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

1.驚かせない 2.急がせない 3.自尊心を傷つけない

認知症の人への対応には、認知症に伴う認知機能低下があることを正しく理解している必要があります。そして、偏見を持たず、認知症は自分たちの問題であるという認識をもち、認知症の人を支援する姿勢が重要になります。

●認知症の人への対応の7つのポイント●

まずは見守る

相手に視線を合わせてやさしい口調で

余裕をもって対応する

おだやかに はっきりした話し方で

声をかけるときは1人で

相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

後ろから声をかけない



「認知症サポーターキャラバン」とは

認知症キャラバンメイトは「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

認知症に関する相談会

日 時：毎月第1木曜日 (14時30分～)

場 所：宮原福祉センター

相談員：精神保健福祉士・介護支援専門員

※相談会以外にも、地域包括支援センターでは随時相談をお受けします。(日曜祝日を除く 8:30～17:00)

★認知症サポーター養成講座は認知症を正しく知るための学習会です。少人数のグループでもOK。皆様のご都合に合わせた日時を下記にご連絡ください。

問い合わせ先

地域包括支援センター (宮原福祉センター内) ☎62-3456
健康福祉課保健予防係 (健康センター内) ☎52-7154